

平成29年度北海道原子力防災訓練について（案）

平成29年12月現在

1 訓練の目的

防災関係機関が協力して原子力防災対策を円滑に実施できるよう、関係機関の連携、防災業務関係者の防災技術の向上を図るとともに、地域住民の防災意識の高揚や、防災対策に関する理解促進を図る。

2 主 催

北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、ニセコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村（道及び13町村）

3 実施時期

- (1) 意思決定訓練（オフサイトセンターを中心とした情報収集・整理及び意思決定）
平成30年2月5日（月）9：00～15：30
- (2) 実動訓練（住民避難を中心とした実動訓練）
平成30年2月8日（木）9：00～15：00

4 訓練内容（主なもの）

国の災害対策指針で定められた避難の判断基準（EAL, OIL）に基づく、段階的な住民避難を円滑に行うため、道として、以下の訓練の実施に向け、関係機関と調整中。

[第1日目]

項 目	主 な 内 容
■ 緊急事態応急対策拠点施設（OFC）運営訓練	○国、道、町村等の要員が参集し、OFCで指揮所訓練を実施
■ 災害対策本部等運営訓練	○道庁地下1階危機管理センターに指揮室を設置 ○国、道、町村の災害対策本部運営

[第2日目]

■ 住民避難訓練	○住民の30km圏外への段階的な避難の実施 PAZ（泊村、共和町） UPZ（一部地域）
複合災害を想定した避難	○実動機関による住民避難の支援 ○家屋倒壊等に伴う避難所の開設・運営
要配慮者避難	○福祉車両等による避難 ○在宅要配慮者の放射線防護施設への屋内退避
観光客避難	○観光客の避難に係る対応手順等の確認
一時滞在場所設置・運営（避難受入自治体）	○受入マニュアル等に基づく初動対応の確認 ○避難住民の受付・誘導手順の確認
道路渋滞対策	○渋滞予測箇所における迂回路誘導
■ 原子力災害医療活動訓練	○避難退域時検査及び簡易除染の実施 ○安定ヨウ素剤（模擬）の緊急配布
■ 緊急時環境放射線モニタリング訓練	○UPZ圏内において要員によるモニタリング活動を実施

5 「泊地域の緊急時対応」の改定を踏まえたポイント

平成28年度原子力総合防災訓練を踏まえて改定された緊急時対応の改定ポイントを確認する。

- ・地震により自宅での屋内退避が困難となった場合を想定した公共施設での屋内退避
- ・P A Z内のバス集合場所の開設時に施設内にレイアウト図を掲示し、住民へのわかりやすい案内表示・避難誘導
- ・P A Z内の避難行動要支援者が避難する際に、バス集合場所をバスが巡回する順路の確認
- ・道路の渋滞状況を把握し迂回路を設定するなど迅速かつ円滑な避難誘導を実施するため、ヘリテレ伝送システムを用いて災害情報を収集
- ・原子力災害拠点病院と原子力災害医療協力機関等が連携した原子力災害医療訓練